



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月5日

上場会社名 株式会社フージャースホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3284 URL <https://www.hoosiers.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣岡 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 鳴神 吉朗 (TEL) 03-3287-0704
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	9,585	△7.4	19	—	△115	—	△194	—
2021年3月期第1四半期	10,346	1.9	△173	—	△177	—	△367	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 35百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △416百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	△5.49	—
2021年3月期第1四半期	△6.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	133,278	35,735	21.1
2021年3月期	136,030	36,368	21.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 28,169百万円 2021年3月期 28,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	18.00	24.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	17.00	—	19.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	△5.3	5,700	4.9	5,000	8.3	3,100	7.7	87.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	36,916,775株	2021年3月期	36,916,775株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,537,512株	2021年3月期	1,537,512株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	35,379,263株	2021年3月期1Q	56,996,795株

自己株式数については、当第1四半期連結会計期間末に役員株式給付信託が所有する当社株式410,550株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 対前期増減率については、当期、前期の一方若しくは両方がマイナスの場合には、「－」と記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 売上実績	10
(2) 販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきまして、契約戸数は315戸1棟、引渡戸数は172戸2棟、当第1四半期連結会計期間末の管理戸数は18,551戸となっております。その結果、当第1四半期連結累計期間における業績として、売上高9,585百万円（前年同四半期比7.4%減）、営業利益19百万円（前年同四半期営業損失173百万円）、経常損失115百万円（前年同四半期経常損失177百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失194百万円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失367百万円）を計上いたしました。

不動産開発事業、CCRC事業及び不動産投資事業においては、売買契約成立時ではなく顧客への引渡時に売上が計上されるため、その引渡時期により四半期ごとの売上高に偏りが生じる傾向があります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(I) 不動産開発事業

当第1四半期連結累計期間におきまして、「デュオヒルズ山形七日町タワー」などマンション132戸の引渡、「デュオアベニュー本山ヒルズ」など戸建住宅7戸の引渡等により、売上高5,238百万円（前年同四半期比34.0%減）、営業利益22百万円（前年同四半期比93.1%減）を計上いたしました。

(II) CCRC事業

当第1四半期連結累計期間におきまして、「デュオセーヌ国立」などマンション29戸の引渡等により、売上高1,454百万円（前年同四半期比372.8%増）、営業損失33百万円（前年同四半期営業損失271百万円）を計上いたしました。

(III) 不動産投資事業

当第1四半期連結累計期間におきまして、売上高1,385百万円（前年同四半期比44.5%増）、営業損失62百万円（前年同四半期営業損失85百万円）を計上いたしました。

① 不動産売上高

棚卸資産の売却により、売上高648百万円（前年同四半期比127.7%増）を計上いたしました。

② 賃貸収入

保有収益物件の安定稼働により、売上高649百万円（前年同四半期比8.3%増）を計上いたしました。

(IV) 不動産関連サービス事業

当第1四半期連結累計期間におきまして、売上高1,492百万円（前年同四半期比32.9%増）、営業利益53百万円（前年同四半期営業損失149百万円）を計上いたしました。

① マンション管理収入

マンション管理において、「デュオヒルズ山形七日町タワー」などの管理受託を新たに開始し、売上高471百万円（前年同四半期比7.9%増）を計上いたしました。

② スポーツクラブ運営収入

スポーツクラブの運営を中心に、売上高819百万円（前年同四半期比60.2%増）を計上いたしました。

③ その他収入

ホテル運営及び工事受託等において、売上高200百万円（前年同四半期比15.5%増）を計上いたしました。

スポーツクラブ及びホテル運営事業については、昨年度に引き続き政府による「緊急事態宣言」を受け、一部店舗の休業等を行いました。臨時休業期間中に各店舗で発生した固定費については、新型コロナウイルス感染症拡大による損失として特別損失に計上しております。

(V) その他事業

PFI事業により、売上高14百万円（前年同四半期比7.9%減）、営業利益5百万円（前年同四半期営業利益0百万円）を計上いたしました。

不動産分譲事業における引渡年間計画に対する契約進捗は下記のとおりであり、当社グループの中心事業である分譲マンションでは69.3%が契約済みとなっております。

2022年3月期	計画引渡戸数	契約済戸数	進捗率
分譲マンション	783戸	543戸	69.3%
シニア向け分譲マンション	517戸	286戸	55.3%
分譲戸建	89戸	46戸	51.7%
合計	1,389戸	875戸	63.0%

(注)1 「分譲マンション」は、ファミリーマンション及びコンパクトマンションの戸数を集計しております。

2 共同事業物件については、共同事業比率を考慮した戸数表記(小数点第1位を切り捨て)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末におきまして、棚卸資産が減少したこと等により、資産合計が133,278百万円(前連結会計年度末比2.0%減)、負債合計が97,542百万円(前連結会計年度末比2.1%減)、純資産合計が35,735百万円(前連結会計年度末1.7%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想は、当第1四半期の業績及び販売状況は予定通りに進捗しており、業績環境につきましても想定範囲内であり、2021年5月13日の「2021年3月期決算短信」で発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,293	29,170
売掛金	382	619
商品	34	33
販売用不動産	31,122	30,383
仕掛販売用不動産	37,029	36,033
営業投資有価証券	1,463	1,244
前払費用	1,539	1,598
その他	4,295	3,554
貸倒引当金	△17	△16
流動資産合計	105,142	102,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,081	11,496
機械装置及び運搬具(純額)	91	0
工具、器具及び備品(純額)	107	100
土地	11,166	11,241
建設仮勘定	3	3
有形固定資産合計	22,449	22,841
無形固定資産		
のれん	177	174
その他	271	281
無形固定資産合計	448	455
投資その他の資産	7,990	7,360
固定資産合計	30,888	30,657
資産合計	136,030	133,278
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,045	686
短期借入金	11,216	11,178
1年内償還予定の社債	3,582	3,582
1年内返済予定の長期借入金	14,826	15,022
未払法人税等	1,332	88
前受金	4,517	5,476
賞与引当金	315	167
アフターサービス引当金	48	48
その他	4,644	4,029
流動負債合計	41,530	40,280
固定負債		
社債	2,628	2,618
長期借入金	51,845	50,950
繰延税金負債	909	912
役員株式給付引当金	223	223
退職給付に係る負債	160	157
資産除去債務	469	510
その他	1,894	1,889
固定負債合計	58,131	57,262
負債合計	99,661	97,542

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,882	5,000
資本剰余金	—	10,882
利益剰余金	14,042	13,203
自己株式	△990	△990
株主資本合計	28,934	28,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	90
為替換算調整勘定	△185	△16
その他の包括利益累計額合計	△72	74
新株予約権	0	0
非支配株主持分	7,507	7,566
純資産合計	36,368	35,735
負債純資産合計	136,030	133,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	10,346	9,585
売上原価	8,298	7,471
売上総利益	2,047	2,113
販売費及び一般管理費	2,221	2,093
営業利益又は営業損失(△)	△173	19
営業外収益		
受取利息	15	15
受取配当金	10	123
解約金収入	23	38
為替差益	87	—
補助金収入	118	37
投資事業組合運用益	74	6
その他	12	36
営業外収益合計	343	258
営業外費用		
支払利息	255	251
支払手数料	28	57
株式交付費償却	7	—
為替差損	—	52
持分法による投資損失	53	25
その他	2	6
営業外費用合計	347	393
経常損失(△)	△177	△115
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	1	1
特別損失		
災害による損失	—	18
新型コロナウイルス感染症拡大による損失	255	44
特別損失合計	255	63
税金等調整前四半期純損失(△)	△432	△176
法人税、住民税及び事業税	53	13
法人税等調整額	△110	△62
法人税等合計	△57	△49
四半期純損失(△)	△374	△127
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	66
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△367	△194

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△374	△127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△21
為替換算調整勘定	△65	190
持分法適用会社に対する持分相当額	13	△5
その他の包括利益合計	△41	162
四半期包括利益	△416	35
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△407	△47
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	82

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2021年6月25日開催の第8期定時株主総会の決議に基づき、2021年6月28日付で減資の効力が発生し、資本金の額を10,882百万円減少させて、全額を資本剰余金に振り替えております。

これにより、当第1四半期連結会計期間末において資本金が5,000百万円、資本剰余金が10,882百万円になっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	不動産 開発事業	CCRC 事業	不動産 投資事業	不動産関連 サービス事業	その他事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,940	307	958	1,122	16	10,346	—	10,346
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12	31	70	65	—	180	△180	—
計	7,952	339	1,029	1,188	16	10,526	△180	10,346
セグメント利益又は損失(△)	329	△271	△85	△149	0	△176	3	△173

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△21百万円及び各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)の損益24百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	不動産 開発事業	CCRC 事業	不動産 投資事業	不動産関連 サービス事業	その他事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,238	1,454	1,385	1,492	14	9,585	—	9,585
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	0	86	75	—	164	△164	—
計	5,239	1,455	1,471	1,567	14	9,749	△164	9,585
セグメント利益又は損失(△)	22	△33	△62	53	5	△14	33	19

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額△14百万円、各報告セグメントに配分出来ない額△1百万円及び各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)の損益49百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 売上実績

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	前年同四半期比 (%)
セグメントの名称	売上高 (百万円)	売上高 (百万円)	
(I) 不動産開発事業			
① 不動産売上高	7,903	5,206	△34.1
② その他収入	37	31	△16.1
不動産開発事業合計	7,940	5,238	△34.0
(II) CCRC事業			
① 不動産売上高	181	1,214	570.3
② その他収入	126	239	89.7
CCRC事業合計	307	1,454	372.8
(III) 不動産投資事業			
① 不動産売上高	284	648	127.7
② 賃貸収入	599	649	8.3
③ その他収入	74	87	17.2
不動産投資事業合計	958	1,385	44.5
(IV) 不動産関連サービス事業			
① マンション管理収入	437	471	7.9
② スポーツクラブ運営収入	511	819	60.2
③ その他収入	173	200	15.5
不動産関連サービス事業合計	1,122	1,492	32.9
(V) その他事業	16	14	△7.9
合計	10,346	9,585	△7.4

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 セグメント間取引については、相殺消去しております。
3 不動産開発事業、CCRC事業及び不動産投資事業においては、売買契約成立時ではなく顧客への引渡時に売上が計上されるため、その引渡時期により四半期ごとの売上高に偏りが生じる傾向があります。
4 不動産開発事業、CCRC事業における賃貸収入は、金額的重要性が乏しいため、その他収入に含んでおります。

(2) 販売実績

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)			
	期初契約数	期中契約数	期中引渡数	期末契約残
	取扱高	取扱高 (前年同四半期比)	取扱高 (前年同四半期比)	取扱高 (前年同四半期比)
不動産 開発事業	719戸 一区画 一棟 26,430 百万円	183戸 2区画 一棟 8,219 百万円 (62.9 %)	205戸 2区画 一棟 7,903 百万円 (118.3 %)	697戸 一区画 一棟 26,745 百万円 (97.2 %)
CCRC事業	238戸 一区画 一棟 9,383 百万円	40戸 一区画 一棟 1,533 百万円 (68.1 %)	5戸 一区画 一棟 181 百万円 (72.3 %)	274戸 一区画 一棟 10,736 百万円 (137.7 %)
不動産 投資事業	2戸 一区画 一棟 82 百万円	4戸 一区画 2棟 514 百万円 (55.5 %)	2戸 一区画 1棟 284 百万円 (48.0 %)	4戸 一区画 1棟 312 百万円 (73.8 %)
合計	959戸 一区画 一棟 35,896 百万円	227戸 2区画 2棟 10,267 百万円 (63.2 %)	212戸 2区画 1棟 8,369 百万円 (111.2 %)	975戸 一区画 1棟 37,794 百万円 (105.8 %)

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)			
	期初契約数	期中契約数	期中引渡数	期末契約残
	取扱高	取扱高 (前年同四半期比)	取扱高 (前年同四半期比)	取扱高 (前年同四半期比)
不動産 開発事業	502戸 一区画 一棟 19,860 百万円	245戸 一区画 一棟 8,860 百万円 (107.8 %)	139戸 一区画 一棟 5,206 百万円 (65.9 %)	608戸 一区画 一棟 23,513 百万円 (87.9 %)
CCRC事業	219戸 一区画 一棟 8,538 百万円	67戸 一区画 一棟 2,762 百万円 (180.1 %)	29戸 一区画 一棟 1,214 百万円 (670.3 %)	257戸 一区画 一棟 10,086 百万円 (94.0 %)
不動産 投資事業	1戸 一区画 3棟 1,844 百万円	3戸 一区画 1棟 447 百万円 (86.9 %)	4戸 一区画 2棟 648 百万円 (227.7 %)	一戸 一区画 2棟 1,642 百万円 (525.7 %)
合計	722戸 一区画 3棟 30,243 百万円	315戸 一区画 1棟 12,070 百万円 (117.6 %)	172戸 一区画 2棟 7,070 百万円 (84.5 %)	865戸 一区画 2棟 35,243 百万円 (93.2 %)

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 取扱高は、マンション及び戸建住宅等の税抜販売価格の総額であり、共同事業物件におきましては、出資割合を乗じたのち小数点以下の端数を切り捨てた戸数及び取扱高を記載しております。